

Q 福岡外環状道路は平成23年4月に全線開通してから、10年が経ちました。この間、がんセンター入口交差点はほぼ毎日渋滞しており、特に朝夕の通学通勤時間帯においては約1km程の渋滞を生じております。そのうえ、車だけではなく人や自動車等の交通量も大変多く、事故も毎日のように頻繁に起こっています。現状であります。渋滞と事故の因果関係は定かではありませんが、年間平均約94件の人身事故の大部分が、この交差点の渋滞の範囲内で発生しております。この事実は見過ごすことのできない大変な事態であると思います。野多目校区としても、これまでに、安全対策として、歩車分離信号の導入等の陳情を行つておき、地域住民からは毎日の子どもたちの見守りをはじめ、安全に対する啓発など自分たちでやれることは

Q 福岡外環状道路は平成23年4月に全線開通してから、10年が経ちました。この間、がんセンター入口交差点はほぼ毎日渋滞しており、特に朝夕の通学通勤時間帯においては約1km程の渋滞を生じております。そのうえ、車だけではなく人や自動車等の交通量も大変多く、事故も毎日のように頻繁に起こっています。現状であります。渋滞と事故の因果関係は定かではありませんが、年間平均約94件の人身事故の大部分が、この交差点の渋滞の範囲内で発生しております。この事実は見過ごすことのできない大変な事態であると思います。野多目校区としても、これまでに、安全対策として、歩車分離信号の導入等の陳情を行つておき、地域住民からは毎日の子どもたちの見守りをはじめ、安全に対する啓発など自分たちでやれることは



全てやっている、これ以上何をやればいいのか、という悲痛な声が上がっています。

私はこのような状況下では、もはや最終的な手段として、抜本的な交差点の改良を直ちに行うべきだと考えます。今後は、渋滞対策だけでなく、事故対策との両輪で進めていく必要があり、その対策として、右左折する車両と歩行者を分離させるような横断歩道橋の設置や地下通路の導入等、実効性のある対策に速やかに着手していただきたいと思います。南区は福岡市で唯一地下鉄の恩恵を受けてない地域です。多少予算が掛ったとしても、市民の命とり良い生活環境を守るために、本市が率先して取り組むべき問題だと思います。責任ある答弁を求めます。(一部抜粋)



野多目交差点付近渋滞時

A 福岡市としても、当該交差点の渋滞対策や事故対策は重要な課題と認識しており、放射状型道路ネットワークの形成を進めることにより、交通の分散化を図るとともに、議員ご提案の歩道橋の導入や抜本的な交差点の改良などの対策については、課題もありますが、福岡市が率先して、国などの関係機関と連携しながら、スピード感をもつて、しっかりと取り組んで参ります。(道路下水道局長)

6校区1町内会と共に合同陳情会を行いました。

市民の方及び町内会、校区自治協議会等の陳情または要望え受け、市役所の関係局・部・課と協議を行いながら共に問題の解決を図っています。



令和4年11月24日 南区役所にて久田南区長に陳情書を提出。
老司:有村会長、弥永西:大重会長、鶴田:曾田会長・宮崎会長、
野多目:出崎会長、三宅:中西会長、塩原:帆足会長、柏原3丁目:片海副会長
※感染症予防対策を行いながら、最小人数での陳情会を行いました。

陳情内容

[老司校区]

- 老司交差点から警弥郷橋までの歩道設置
- 老司片江線の老司交差点改良
- 老司大池管理用道路整備(老司・鶴田校区)
- 洪水調整池笹池の整備
- 老司4丁目地内市道の拡幅
- 老司古墳と老司瓦窯跡の整備



[老司校区]
老松神社裏で土砂災害がありましたが、災害復旧工事が完成。

[鶴田校区]

- やよい坂の渋滞解消に向けた道路整備
- 市作池にトイレ・手洗場の整備
- 市道・屋形原柏原線(南2幹)の道路整備
- 市道屋形原・須玖線(老司5丁目地内)
押しボタン式信号機の設置
- バス路線の新設
- 鶴田3丁目地内市道の新設(緊急避難路)
- 柏原2丁目地内防災対策(砂防ダムの整備)

[三宅校区]

- 半感応式信号機の変更及び市道の拡幅



[弥永西校区]

- 弥永2丁目6番・7番地内押しボタン式信号機の設置
- 横断歩道の設置(老松橋、右岸側)
- 弥永3丁目2番・17番地内押しボタン式信号機の設置
- 屋形原・須玖線の速度制限(全線40km)



[弥永西校区]
那珂川河畔公園が整備され、遊具が設置されました。

[野多目校区]

- フノカケ池トイレ及び手洗い場の整備
- 地域交流センター建設
- 野多目小学校前交差点の信号機の改善
- 向新町地内横断歩道の設置
- 向新町地内速度規制及び横断歩道の設置
- 野多目中央公園のトイレ整備
- 外環状線道路がんセンター入口の渋滞対策

[柏原3丁目町内会]

- 柏原3丁目地内防災対策(砂防ダムの整備)

川上陽平プロフィール

- 昭和52年福岡市南区老司に生まれる
- みやげ保育園卒園
- 老司小学校・老司中学校卒業
- 福岡大学附属大濠高等学校卒業
- 福岡大学経済学部経済学科卒業
- (株)九電工入社(平成14年~平成30年)
- 平成23年福岡市議会議員初当選
- 平成27年福岡市議会議員2期目当選
- 平成31年福岡市議会議員3期目当選
- 福岡市南区野多目レークヒルズ野多目に在住

役職・主な推薦団体

- 自由民主党福岡市議団 政調会長
- 福祉都市委員会
(住宅都市局・福祉局・保健医療局)
- 交通対策特別委員会 委員
- 文化スポーツ振興推進協議会 理事
- 福岡県理容生活衛生同業組合南福岡支部 顧問
- 福岡地方料飲組合連合会顧問
- 福岡市医師連盟推薦議員
- 福岡市歯科医師連盟推薦議員
- 福岡市幼稚園連盟振興議員
- 全国保育推進連盟福岡市支部推薦議員

主な地域活動

- 三宅中PTA会長
- 老司校区まちづくり協議会 顧問
- 鶴田校区町おこし運動実行委員会 顧問

- 野多目3丁目レークヒルズ町内会 顧問
- 福岡市南消防団三宅分団
- 南杯ソフトボール大会 顧問

特技

- 剣道(鍊士六段)
福岡如水館の大将として全国大会春・夏連覇
福岡大学附属大濠高校ではインターハイ団体優勝
- 大濠高校剣道部 剣真会 監事
- 福岡大学剣道部 七剣会 理事
- 南区剣道連盟 副会長
- (株)九電工剣道部 参与



那珂川遊歩道を家族と